

# 社協情報 ふくしのはあと



No. 98

## 主な内容

- 令和3年度  
事業報告 収支決算報告
- お達者サロン
- インフォ社協
- 南部町生活支援体制整備事業
- 善意の泉

2022年 (令和4年) 6・7月号

## かわいい手まりができました ～ お達者サロン 健康教室 ～



令和4年6月10日(金) (旧)南部町名川ドライフラワーセンターにおいて、令和4年度最初のお達者サロンが開催されました。

今回のメニューは、作品づくりと栄養講話。作品づくりでは、頭と指先を使い、毛糸でかわいい手まりを作りました。最初は思うように巻けないこともありましたが、教え合いながら皆さんの力作が完成しました。後半の栄養講話での様子は、5ページ目で詳しくお伝えします。

社協情報誌「ふくしのはあと」は、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

社会福祉法人 南部町社会福祉協議会

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が中止や規模縮小となりましたが、「リモート」等を使用しながら業務を遂行いたしました。事業実施にあたり慎重な判断が求められる中で、町民の皆様をはじめ、行政・関係機関の皆様には多大なるご協力と温かいご助言・ご指導をいただき誠にありがとうございました。



## 1. 地域福祉事業



### (1) 日常生活自立支援事業の実施

高齢者や障がいのため判断能力低下や日常の金銭管理が出来ない方を対象に、福祉サービスの手続き代行や金銭管理等の支援を行いました。(利用対象者13名、支援回数159回)

### (2) ボランティア活動の振興

ボランティア登録団体や個人ボランティアを対象に、情報提供、ボランティア保険加入の手続きの支援や財団が行う各種活動助成金等の情報提供を行い、コロナ感染防止対策としてマスク、消毒液の配布を行いました。また、災害時にはボランティア要請に応じて「災害ボランティアセンターの開設」や、要介護者や障がい者等が避難できるよう「福祉避難所」を開設し支援します。

(ボランティア団体9団体181名、ほのぼの事業・安心電話協力員等517名、計741名)

### (3) 心配ごと相談所開設事業の実施

心配ごと相談所を常時開設し、職員(社会福祉士や社会福祉主事)が町民の悩みごとの解消に努めました。(246日開設、相談44件)

### (4) 緊急食糧提供事業の実施

生活困窮者に対し、緊急的食糧支援の提供を行いました。(12名に延べ108日分支援)

### (5) 広報発行事業の実施

「ふくしのはあと」を隔月に発行して町民に社会福祉の情報提供し、啓発・宣伝に努めました。

### (6) 第16回南部町社会福祉大会の開催

「南部町いちょうホール」において規模縮小により開催いたしました。  
(令和3年11月9日開催、福祉関係者功労者30個人・5団体に表彰授与)

### (7) NHK地域歳末たすけあい配分事業の実施

歳末たすけあい事業として、福祉団体に活動資金の配分を行ないました。

### (8) 福祉団体等の指導育成事業の実施

福祉4団体の事務局を担当して、事業活動の支援と運営の強化に努めました。

- ① 南部町民生委員児童委員協議会
- ② 南部町老人クラブ連合会
- ③ 南部町身体障害者福祉会
- ④ 南部町遺族会

### (9) 無料法律相談事業の実施

弁護士による無料法律相談所を開設して、町民の法的トラブルや悩みごとの解消に努めました。  
(年5回開催、相談15件)

## (10) 生活福祉資金貸付事業の実施〈青森県社会福祉協議会〉

資金貸付の窓口として相談や償還指導、更にはコロナ影響による相談支援と貸付を行いました。  
(緊急小口資金4件、総合支援資金1件)

## (11) レクリエーション機器貸出事業

町内会、学校、各種団体の行事や交流会で使用する用具や機器を無料で貸出しを行いました。  
(綿菓子機、レクリエーション用具、手芸活動のミシン等)



## 2. 高齢者福祉事業

### (1) 地域ふれあい交流会助成事業の実施

地域の「ふれあい交流会」に助成金を交付して、生きがい活動の支援に努めました。

### (2) 福祉機器・介護用具貸付事業の実施

ベッドや車いすを無償貸与して、要介護者とその家族の生活支援に努めました。  
(貸出台数 ベッド6台、車いす13台)



### (3) 福祉コミュニティ活動推進事業の実施

#### ① 要介護者世帯の除雪体制づくり

町内会の除雪活動の体制づくりを行ない、会議費助成や資材等の提供を行いました。

#### ② サロン活動の開設

無料休憩所『お達者サロン』をおらんど館で開催し、介護予防・フレイル予防に努めました。

### (4) ほのぼの交流協力員事業の実施

コロナ禍において地域住民が主体となり、「見守り」と「助け合い」の活動を実施しました。  
(ほのぼの交流協力員323人、見守り対象世帯433世帯)

### (5) 軽度生活援助事業の実施

一人暮らし高齢者等を対象に、ヘルパーが掃除、洗濯、調理、買物等の家事援助サービスを行い、自立生活支援に努めました。(年間延べ48回訪問)

### (6) 配食サービス事業の実施

調理が困難な高齢者や障がいを持つ方を対象に、年365日体制で昼食と夕食を利用者宅に届け、安否確認と健康状態の把握に努めました。(対象者55名、延べ14,370食)



### (7) 緊急通報福祉安心電話サービス事業の実施

ひとり暮らし高齢者・高齢世帯・障がいを持つ方を対象に、福祉安心電話を設置して、緊急時の連絡体制づくりと、孤独感の解消に努めました。(設置者40世帯)

### (8) 在宅介護支援センター事業の実施

在宅の高齢者や要介護者宅を巡回して、介護の相談や指導活動を行ないました。  
(相談件数826件、実態把握342名、介護予防出前講座9地区参加者41名)

### (9) 外出支援サービス事業の実施

在宅の寝たきり高齢者等の医療機関への通院や入退院時の送迎サービスを行いました。  
(利用対象者35名、延べ回数424回)



### 3. 児童福祉事業

#### (1) 福祉の心を育む事業の実施

小・中学校に出向き、福祉講座や体験学習を感染防止対策徹底により開催し、社会福祉への理解と関心を深めることに努めました。(小学校2回、中学校2回、受講者計70名)



#### (2) 子育て支援事業の実施

子育て中の保護者に育児用品やチャイルドシートの無料貸出しを行い、子ども達の健やかな成長を支援しました。(チャイルドシート48台、育児用品20台)

### 4. 障がい者福祉サービス事業

- (1) 障がい者移動支援事業の実施
- (2) 障がい者ヘルパー事業
- (3) 障がい者デイサービス事業



### 5. 介護サービス事業

- (1) ホームヘルプサービス事業
- (2) デイサービス事業 (デイサービスセンターひろば、デイサービスセンターあじさい)
- (3) ケアプランセンター
- (4) 熱中症避難所の開設  
「名川老人福祉センター」及び「剣吉デイサービスセンター」において、熱中症避難所を11日間開設しました。



## 令和3年度 決算報告

#### 貸借対照表

(単位：円)

科目	決算額
資産の部	
流動資産	88,585,702
固定資産	603,909,883
(基本財産)	3,000,000
(その他固定資産)	600,909,883
資産の部合計	692,495,585

負債の部	
流動負債	14,721,042
固定負債	92,141,993
負債の部の合計	106,863,035

純資産の部	
基本金	3,000,000
基金	19,301,106
国庫補助金等特別積立金	169,534,420
その他積立金	319,158,478
次期繰越活動増減差額	74,638,546
純資産の部合計	585,632,550
負債及び純資産の部合計	692,495,585

#### 資金収支計算書

(単位：円)

科目	決算額
収入	
会費収入	5,380,100
寄附金収入	1,123,855
経常経費補助金収入	14,599,300
受託金収入	24,608,981
貸付事業収入	29,000
事業収入	6,043,150
介護保険事業収入	169,246,887
障害福祉サービス等事業費収入	12,678,850
受取利息配当金収入	12,082
雑収入	1,017,919
施設整備等補助金収入	1,240,000
その他の活動による収入	5,419,416
収入計	241,399,540
支出	
人件費支出	205,367,292
事業費支出	55,856,007
事務費支出	4,958,437
助成金支出	113,500
負担金支出	584,000
支払利息支出	101,330
雑支出	248,850
施設整備等支出	8,962,166
その他の活動による支出	8,736,604
支出計	284,928,186
当期資金収支差額	-43,528,646

前期末支払資金残高	119,228,195
当期末支払資金残高	75,699,549

# お達者サロン 健康教室（6月10日）

講師：南部町社会福祉協議会主査 村井希美子 / 管理栄養士 坂本 健

今回の参加者は、見学の方を含め6名。久しぶりの開催となりましたが、初参加の方も加わり、とても賑やかなサロンとなりました。

後半は「時間栄養学」について学びました。これは「いつ食べるのが体に良いのか」を重視した考え方のこと。日々の食事・生活について、改めて考える機会となりました。

終始笑いの絶えない時間となり、参加者からは「次は来月でもんなー長いな」「また来月ね」と次回を楽しみにしている声が聞かれました。



## ●「時間栄養学」から見る健康のポイント

- ・朝食を欠かさず、少量でも毎日決まった時間に食べて、体の目覚めを促しましょう！
- ・ごはんの前に、野菜や肉、魚、大豆製品などを食べて、血糖値の上昇を抑えましょう！

## 実施日

令和4年6月10日（金） 13:30～15:00

## 会場

(旧)南部町名川ドライフラワーセンター  
(南部町下名久井字剣吉前川原1-19)

## ◆参加者募集 ～お達者サロンに参加して健康寿命を延ばしませんか～

次回の「お達者サロン」は8月に開催予定です。

事前申込みが必要となりますので、お電話でお申込みください。

日 時	8月19日（金） 13時30分～15時
会 場	(旧)南部町名川ドライフラワーセンター(南部町下名久井字剣吉前川原1番地19)
参加費	無 料
定 員	10名（先着順）
申込締切	8月12日（金）
内 容	① レクリエーション用具を使って機能低下を予防しよう ② 健康講話「健康維持のために低栄養を予防しよう」

### ●申込先●

デイサービスセンターあじさい

電話 0178-60-5500

(担当 坂本・久保田)

※お達者サロン推進事業は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

# インフォ社協

i n f o r m a t i o n

## 無料法律相談のお知らせ

南部町民を対象とした弁護士による無料法律相談を下記のとおり開催します。土地、借金、財産相続等の法律問題を専門家に相談できるこの機会をぜひご活用ください。

●日 時 8月23日（火） 13時30分～

●場 所 南部町健康センター（南部町大字下名久井字白山91-1）

1人あたり30分程度の相談となります。

事前予約が必要となりますので、お気軽にご連絡ください。



【申込先】 南部町社会福祉協議会

電話 0178-76-2662

# 南部町生活支援体制整備事業 スタート

## ～地域みなさんと一緒に「支え合いの地域づくり」を推進します～

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が年々増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業など地域の多様な主体が連携を図り、高齢者が生きがいをもって生活が続けられるよう「社会参加による介護予防」を重視し、**地域みなさんが主体**となって助け合い・支え合い活動が出来るような「支え上手・支えられ上手」の地域づくりを進めていくことになりました。

南部町社会福祉協議会・特定非営利活動法人なんぶねっとは、南部町から「南部町生活支援体制整備事業」を受託し、地域の皆さんがふれあいの中で生きがいを持って生活出来るように『生活支援コーディネーター』を配置し事業を進めていきます。

### 生活支援コーディネーターの活動

#### ①地域資源（地域の宝物）の把握

「通いの場」、「生活支援」を探しています！地域で活動していることを教えてください！

（例）お茶飲み会や地域サロン、趣味活動

ちょっとした家事支援、ボランティア活動、見守りや安否確認など

#### ②生活支援ニーズの把握・共有

話し合いの場づくり。地域の困りごとについてみんなで考えます！

地域にどのような困りごとがあるのか、情報交換や解決するためには何が必要なのか等、地域みなさんと一緒に「助け合い」や「支え合い」が出来る仕組みを考えていきます。

#### ③困り事に対するサービスの情報提供

サービスの情報を提供します！

生活支援に関する困りごとに対し、利用できるサービスや活動の情報を提供します。

#### 【お問い合わせ・情報提供先】

◆南部町社会福祉協議会（名川、福地地区担当） 0178-76-2662

◆特定非営利活動法人なんぶねっと（南部地区担当） 080-1825-1921（担当者：田口 直通）

## 善意の泉

社会福祉協議会にお寄せいただいた寄付をご紹介します。



### 物 品

●三戸ライオンズクラブ様 緊急食糧用湯せんご飯 280食分

### プルタブ

●風 間 正 勝 様 7.27kg

●サポートセンターあさひ様 6.50kg

●匿名希望様 2.86kg



三戸ライオンズクラブ様  
緊急食糧用に寄贈していただきました

皆様からのご寄付は、地域福祉事業のために大切に活用させていただきます。  
(介護保険事業には充当しておりません。)